

学年	高校3年	教科	英語科	科目	論理・表現Ⅲ	単位数	3
教科書名	APPLAUSE English Logic and ExpressionⅢ (開隆堂)			副教材名	①スクランブル英文法・語法 4th Edition (旺文社) ②入試必携英作文 Write to the point (数研出版) ③2026年用パワーマックス共通テスト対策 模試英語リスニング×8 (Z会)		
コース・クラス	中高一貫文系						

I. 目標

1. 国公立と難関私大の合格を目指し、文法・語法問題で7割以上の正解を目指す。
2. 和訳、要約、英作文の問題で7割以上の得点を目指す。
3. 共通テストリスニング試験において7割以上の得点を目指す。

II. 授業のねらい

1. 教科書では、音声で流れた内容を理解し、その根拠等を分析したうえで、自分の意見を文章化できるようにする。
2. 項目別の文法力や語法力の定着を図り、文法問題だけではなく、長文読解にも生かせる力を身につけさせる。
3. 過去問題に挑戦しながら、難度の高い問題に対応できる文法・語法の実践力を身につけさせる。

III. 授業の進め方

1. 教科書のModel Dialogは、予習として聞き、プリントや教科書の穴埋めを済ませておく。
2. 定義された問題について、自分の意見を英語でまとめ、ペアワークや全体での発表を行う。
3. スクランブル英文法・語法は予定表に従い、確認テストを実施することにより、標準的な身につけた文法・語法力を確認する。
4. 項目的に身につけた知識が実践的に運用できるか、ランダム問題演習にて確認、得点力アップを目指していく。
5. 毎回の授業で音声活動を行い、共通テスト本番に向けてリスニングテストを実戦形式で実施する。
6. 模試や大学入試の過去問等を利用し更なる実践力を身につける。

IV. 学習上の留意点

1. 毎週実施するスクランブル英文法・語法の小テストに向けて対策をし、知識の定着を図ること。
2. 実践を意識しながらランダム問題に取り組み、授業内での解説を聞いて、間違えた問題を理解できるまで復習すること。
3. 授業内で取り組んだリスニング問題は、必ずスクリプトを確認しながら復習すること。

V. 定期試験

- 1学期 中間試験 : 教科書、スクランブル英文法・語法、入試必携英作文、応用問題など
- 1学期 期末試験 : 教科書、スクランブル英文法・語法、入試必携英作文、応用問題など
- 2学期 期末試験 : 教科書、スクランブル英文法・語法、入試必携英作文、応用問題など

VI. 評価の方法

定期試験、小テスト、提出物、授業への取り組みなど総合的に判断する。

VII. 授業計画

学期	月	単元・学習項目	評価方法	到達目標
一学期	4	教科書Unit 1～2 スクラブル 第1章～第5章 英作文 L01～L04	<ul style="list-style-type: none"> ・小テスト ・定期テスト ・提出物 	<ul style="list-style-type: none"> ・音声で流れる内容を理解でき、その主張に対する根拠や例示を分析したうえで、自分の意見を英語で書いたり伝えたりすることができる。 ・文法、語法のさらなる定着を図る。 ・定着した知識を実践問題で発揮できる。 (並べ替え問題、誤り指摘問題の完成) ・与えられたテーマに沿った英文を作成することができる。
	5	教科書Unit 3～5 スクラブル 第6章～第12章 英作文 L05～L8		
	6	教科書Unit 6～7 スクラブル 第13章～第19章 英作文 L9～L12		
	7	パワーマックス第1回～2回 定期試験+復習		
二学期	9	基礎学力到達度テスト対策 教科書Unit 8～10 スクラブル 第20章～第27章	<ul style="list-style-type: none"> ・小テスト ・定期テスト ・提出物 	<ul style="list-style-type: none"> ・音声で流れる内容を理解でき、その主張に対する根拠や例示を分析したうえで、自分の意見を英語で書いたり伝えたりすることができる。 ・文法、語法のさらなる定着を図る。 ・定着した知識を実践問題で発揮できる。 (並べ替え問題、誤り指摘問題の完成) ・与えられたテーマに沿った英文を作成することができる。
	10	英作文 13～16 パワーマックス第3回～5回 教科書Unit 11～12		
	11	スクラブル 総復習 英作文 17～20 パワーマックス第6回～8回		
	12	定期試験+復習		

※ シラバスの内容(時間や事項)については、理解度やその他の都合により変更することもあります。